

特集 まちを守る

身近な犯罪の発生状況

(令和4年6月末時点)

① 住宅等に侵入される被害

9件が空き巣被害です。

13件

CPマーク（防犯性能が高い建物部品に付けられるマーク）の付いた窓ガラスの導入や窓ガラスに補助錠を設置するなどし、家屋の防犯性能を向上させましょう。

② 自転車の盗難被害

30件が無施錠での被害です。

二つ以上の施錠（ツーロック）を実施しましょう。

46件



ツーロック

③ 車両部品の盗難被害

ナンバー等の部品が被害にあっています。

ナンバープレート盗難防止ネジ（特殊工具以外では取り外し不可）を取り付け、被害を防ぎましょう。

4件

④ 自動車の盗難被害

ランドクルーザーやプリウスなどが被害にあっています。

ハンドルロックやイモビライザーなどを追加してセキュリティ対策をしましょう。

3件

⑤ 車載品の盗難被害

6件とも無施錠での被害です。

車内に金品を置いて離れないようにし、防犯ブザーの設置や防犯カメラ等を設置している駐車場へ駐車しましょう。

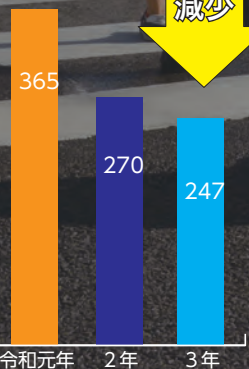
6件



ハンドルロック

犯罪発生件数

1/2に減少



令和3年の岩倉市における犯罪発生件数が、5年前の平成29年と比べて半減していることを皆さんはご存知でしょうか？江南警察署や岩倉幹部交番の警察官の方、各地域の防犯パトロールやスクールガードの皆さんの昼夜を問わない活動、安全安心カメラや防犯灯の設置等が実を結び、犯罪が減っていることはたいへん喜ばしいことです。

しかし、犯罪がゼロになったわけではなく、岩倉市内でも、自動車や自転車などの盗難や振り込め詐欺などの特殊詐欺が発生しています。今回の特集では、身近な犯罪の発生状況やそんな犯罪から「まちを守る」人たちにスポットを当ててご紹介します。

岩倉の安全・安心を守る地域の力

防犯パトロールやスクールガードなどたくさんの人たちの協力により岩倉市の安全・安心は支えられています。その一部の団体の活動を紹介します。

曽野小学校スクールガード

スクールガードとは、子どもたちの安全を確保するために通学路に立ち、見守りや学校周辺の危険箇所を点検し、学校に報告するなどの活動をしているボランティアです。

曽野小学校スクールガードには、10年以上スクールガードとして子どもたちを見守っている人や、母校の子どもたちのために自分も手伝いたいという思いからスクールガードを引き受けくれた大学生など、56人が協力してくれています。



八剣町安全パトロール

八剣町安全パトロールは、25年ほど前に、町内の安全を守ることを目的に始めました。

区の役員や環境委員、消防団員など17人が参加し、5班に分かれて、パトロールしています。

大山寺町防犯パトロール

区長をはじめ、区の役員など15人を3班に分けて、地区ごとにパトロールを実施しています。

住宅地を中心に定期的に見回り、地域の安全・安心に努めています。



⑥ 振り込め詐欺等の特殊詐欺

4件

江南署管内で発生した5件の内、4件が岩倉市内で発生しています。

息子を語り騙す手口や還付金名目などさまざまな手口があります。また、詐欺の9割が自宅の固定電話への架電なので、留守番電話設定の活用や防犯機能付電話の設置など対策をしましょう。

岩倉市を守る中核 岩倉幹部交番で聞きました

防犯の中核を担う岩倉幹部交番に勤務する西谷一輝巡査部長に、岩倉市で発生している犯罪や市民の防犯意識などについて、警察官の視点からインタビューに答えてもらいました。

警察官を志すことになったきっかけを教えてください。

小学校1年生のとき、学校から帰宅する際に道端で拾った10円玉を交番に届けました。そのときに対応してくれた警察官に、届けたことをすごく褒められたんです。それが嬉しくて小銭を見つけた度に交番に行きました。そして、何度も行こううちに「将来は警察官になりたい」と思うようになりました。

私のように、何かの出来事を機会に「将来、警察官になりたい」「警察についてもっと知りたい」と思う人は、江南警察署で定期的ミニ採用説明会などを開催しているので、参加してみてください。



にしたに かず き 西谷 一輝 巡査部長

犯罪の特徴はありますか。

岩倉市には、3つの鉄道駅があることから自転車を利用される人が多く、それに比例して自転車盗の被害が多いですね。

他にも、高齢者世帯を狙った現金やキャッシュカードを騙し取ろうとする等の特殊詐欺の被害が江南市や大口町よりも多く発生しています。

犯罪に巻き込まれないようにするための注意点はありますか。

1つ目は、自転車のツーロックです。自転車に駐輪する際は必ず施錠をするともに、ワイヤー錠等もあわせてすることで自転車盗の被害の防止につながります。

2つ目に、特殊詐欺の前兆電話に注意です。もし、ご自宅に詐欺と思われる不審な電話がかかってきたら、相手にせず、すぐに電話を切り、その後、必ず110番通報してください。また、被害を防ぐために自宅の電話は留守番電話設定にするか、防犯機能付電話を設置しましょう。

防犯意識は高いと思いますか。

先に述べたとおり、特殊詐欺の被害が発生していますが、その前段となる前兆電話（警察官等を名乗って、通帳等

の有無などを確認するような電話）を受けた高齢者の多くが、詐欺の電話だと見抜き、警察に通報してくる件数も多いです。さらに事件・事故の現場に出向いた際、市民の方から声をかけてくれたり、自ら交通整理をして協力してくれるなど市全体の防犯意識の高さと警察活動への理解に感謝しています。

地域での防犯活動（夜間パトロールやスクールガード）について感じていることはありますか。

市内では、約30の地区の方にそれぞれの地区を定期的にパトロールしていただいています。警察もパトロールを強化して、犯罪の抑制と検挙に向けた警戒活動に努めています。が、「普段と様子が違う」「見かけない人がいる」など地域の皆さんだから気づくことができることもあります。皆さんのこうした地道な活動が、まちの安全・安心につながっていると思います。

最後に、市民の皆さんに伝えておきたいことはありますか。

「こんなことで交番に行ってもいいの」「こんなことを警察官に相談してもいいの」と、よく心配される人がいるんですが、「こんなこと」と思うことでも、実際には大ごとになって



仲間と相談・協力し、今日もまちを守る

いることがあります。

先日、岩倉幹部交番に寄せられた年配の女性が、『携帯電話会社から未払いがあるという内容のショートメールが届いたから、今から支払いに行かないといけない』と言われたので、それは詐欺の手口で、払ってはいけないことを説明しました。その女性は、『有名な携帯電話会社の名前だったから払わないといけないと思っていた』と言われました。このときは詐欺の被害を防ぐことができたが、年配の人の中にはそういう手口の詐欺があることを知らない人もいます。なので、「こんなこと」と思うことでも、気軽に交番に来て、警察官に相談してみてください。

